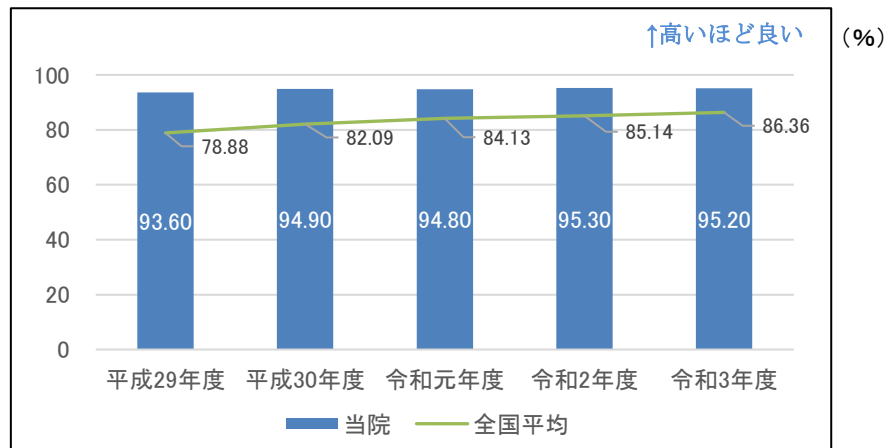


73 後発医薬品使用率(数量ベース)

○項目の解説

後発医薬品切替可能薬品のうち、実際に消費した後発医薬品の数量に占める割合を表す指標です。後発医薬品の普及は、患者の自己負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものとなります。この指標により、政府が定める数量シェア目標にどれだけ貢献しているかを示すことができます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

本院の後発医薬品使用率は95%前後を推移しており、これは全国の国立大学病院と比較しても高い数値であることが示されています。後発医薬品への切り替えは年2回実施しており、事前に薬事委員会で調査、検討を行うとともに各診療科への意見聴衆を実施しながら、積極的に後発医薬品への切り替えを促進し、患者負担の軽減や国の医療保険財政の改善に取り組んでいます。

○定義

前年度10月1日～当該年度9月30日の1年間の入院における後発医薬品使用率です。

○算式

$(\text{後発医薬品使用数量} \div \text{後発医薬品切替可能数量}(\ast)) \times 100$

(※) 後発医薬品切替可能数量 = 後発医薬品のある先発医薬品の使用数量 + 後発医薬品の使用数量